

# 裁判员等経験者との意見交換会の概要

(令和5年10月30日 山形地方裁判所で開催)

★学生さんからの質問もお受けしました★

法律とかも全く分からないまま審理に臨み、自分が疑問に思ったことや意見を、裁判官や他の裁判员に吸い上げてもらって、チームでやっているんだなととても心強く思った。(40代/男性)

裁判员に選ばれる前の年に、名簿に載りましたよと封書が来て、その時はそれくらいしか思わなかったが、今度は裁判所に来てくださいということだったので、自分でもびっくりした。初公判の日初めて法廷に入ったときは、ドラマのような世界があることに驚き、今後もう忘れることはないだろうと思った。(20代/男性)

裁判员裁判に参加しての全般的な感想を教えてください。

人生で一番頭を使ったのではないかと思うくらいだった。裁判官から一つ一つ教えてもらいながら、裁判员裁判というのは市民の意見が一番大事だと言ってもらえて、自信を持って発言した。(40代/女性)

まさか自分が選ばれることはないだろうと思っていたが、裁判が終わって、当日の夕方のニュースで取り上げられていたのが印象的だった。(50代/男性)

裁判官から、裁判所を出たら事件のことは忘れましょうとアドバイスを受けたので、あまり考え込まないように期間を過ごすことができた。(20代/女性)

選ばれて、最初は非常に重いものを背負わされた気になった。裁判官から我々の目線に合わせて解説してもらったが、身近にはない言葉を使うので非常に難しかった。(50代/男性)

写真の検証から始めたり、実際に法廷で被告人の話を聞いたときに、私自身も悩むことがあった。(20代/女性)

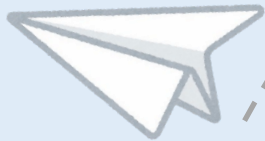
審理では難しい言葉がたくさん出ていたが、手元にあった資料が分かりやすかったのをそれを見ながらメモにとるようにして、その内容を評議の中で解消するようにしていた。手元にあった資料が分かりやすくて良かった。(20代/男性)

ある部分がどうしても頭から離れず、悩むところがあったが、こういう例もありますよと裁判官に聞いて、決めることができた。(40代/男性)

ついていくのがやっとで、分からないことはとりあえずメモして、後で評議で聞けばいいと思ってやっていた。(40代/女性)

「目で見て聞いて分かる裁判」になっていましたか？審理の分かりやすさはどうでしたか？

初めて聞くようなものも裁判官に一つ一つ聞いて、検察官や弁護人が作成した資料を見て、言葉の説明を聞きながら理解していった。(50代/男性)



評議では自分の意見を十分に言えましたか？

初めて会う方々との話し合いだったが、裁判官が、話しやすい、発言しやすい環境だったり、雰囲気を作ってくれたのがよかった。量刑の多い少ないはさておき、皆さんといろいろ話し合った結論だったので良かったと思っている。(20代/男性)

私たちが話し合って決めることに意義があるのであって、世の中の人みんなが納得するような量刑ってないんだな、難しいなと思った。(40代/女性)

皆さん性別や年代も違う中で意見もバラバラで、私自身も悩んだが、裁判官の方からうまくまとめていただいた。(20代/女性)

20代で意見して良いものか、裁判に関わること自体が不安だった。(20代/女性)

全く知識がないままで裁判員に選ばれて、本当に大丈夫かな、自分に務まるかなと思った。(40代/男性)

自分でいいのかなという思いと、裁判所から封書が来た時点で、なにか悪いことでもしたかと思った。(50代/男性)

被害者の遺族が意見陳述する場面ですごく泣いてしまって、感情のコントロールが難しかった。(40代/女性)

裁判員裁判に参加する前に不安を感じていたことはありましたか？  
また、参加に当たりどのような点が難しかったと感じましたか？

学校のテストみたいに正解と間違いがはっきりあるものではないので、一番いい結論は何なのか考えて答えを出して、それを自分の中に落とし込むまでが難しかった。(50代/男性)

裁判に参加した後で変化がありましたか？  
感じていた不安は解消されましたか？

裁判官から分からないことはちゃんと教えてもらえたり、ちょっとした意見も拾って丁寧に説明していただくことができた。不安がなくなることはなかったが、だんだんと解消されていった。(40代/男性)

難しい言葉も全部教えてもらえたり、私でもできたんだから皆さん大丈夫だと思う。(40代/女性)

不安はあったままで、一般の市民が携わるということを考えると、不安を感じないはずはないと思う。私の場合は人に恵まれたこともあって、日を追うごとに解消していった。(20代/男性)

正解ということではなく、その時点でベストな答えを出したのに対して、世間ではこれに違う考えの人もいたり、あるいは違う答えを求める人もいるんだなと思う。(50代/男性)

大学で法学を学んでいる学生です。裁判員裁判の判決に対して上訴があった場合、上訴審では裁判員裁判が行われずに判断されることで、仮に判決が覆ったときに、新聞等では裁判員の方に無力感を与えるという報道に対し、思うところはありますか？

裁判員裁判で出した結論には裁判官も入っていることを考えると、覆ったとしても無力感というのは感じないと思う。(20代/女性)

それまで裁判には全く興味がなかったけれど、事件や新聞を見て、自分の中で考えて判断するようになったり、いろんな事件を真剣に見るようになった。(50代/男性)

裁判員裁判を経験した後に感じた変化や、経験して思うことはありますか？

この経験をして、今後、自分の周りで裁判員に選ばれた人がいたら、こんな感じだったよと伝えられるようになったのが良かった。(20代/男性)

難しい言葉を覚えるのが大変だったけれど、その難しい言葉を子どもに説明できるようになった。(40代/女性)

ニュースで流れてくる事件を見るようになったし、表面的な情報だけで刑が軽すぎるとか思わなくなった。いろいろな事情が膨大にあると思うし、それを踏まえての結果なのだろうと深く考えるようになった。(20代/女性)

子どもが話す内容も、切り抜かれた一部分だけではなく、その話の前後も併せて聞くようになった。(40代/男性)